

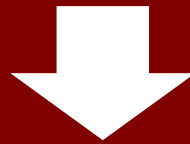
国際医療救援部門・国際救援部門共同研究

これからの災害医療救援
グリーンレスポンスへの対応

国際医療救援部門 中出 雅治
国際救援部門 佐藤 展章

これまでの災害医療救援

すみやかにニーズを把握して適切な医療を適切な場所で迅速に提供する



次の段階

環境に与える影響を最小限にする支援

13 気候変動に
具体的な対策を



気候変動を引き起こしている原因の一つとされている「世界の温室効果ガス排出量の増加」

The Climate and Environment Charter for Humanitarian Organizations

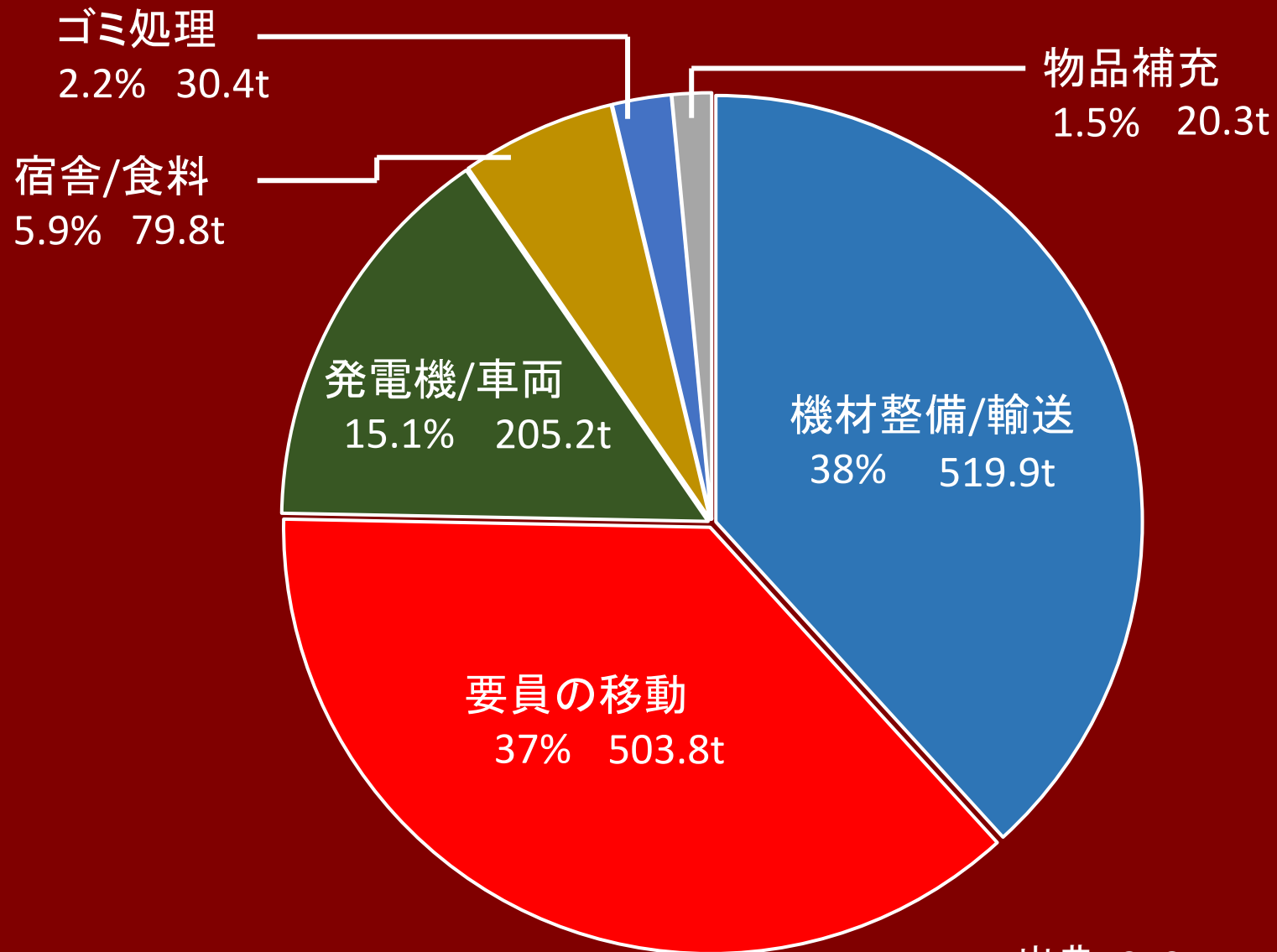
「人道支援団体のための気候・環境憲章」



2021年5月

1. 高まる人道的ニーズへの対応を強化し、人々が気候と環境の危機の影響に適応できるように支援する
2. 支援において環境の持続可能性を最大限に高め、温室効果ガスの排出を速やかに削減する
3. 地元関係者やコミュニティのリーダーシップを尊重する
4. 気候と環境のリスクを理解し、エビデンスに基づいた解決策を開発する能力を高める
5. 気候・環境対策の強化にとどまらず、人道セクター全体で協力して取り組む
6. 人道団体の影響力を利用し、迅速かつより意欲的な気候変動対策と環境保護を促す
7. 目標を設定し、宣言した誓約の進捗状況を評価する

フィールドホスピタルの二酸化炭素排出(4ヶ月)



合計 1360トン/4ヶ月

ちなみに日本の一般家庭1世帯が
1年間に出す排出量=2.72トン

500世帯が1年間に排出する量に相当

再生可能エネルギーの医療救援への利用



370Wh
5kg 超軽量

トイレの照明を太陽
光パネルで



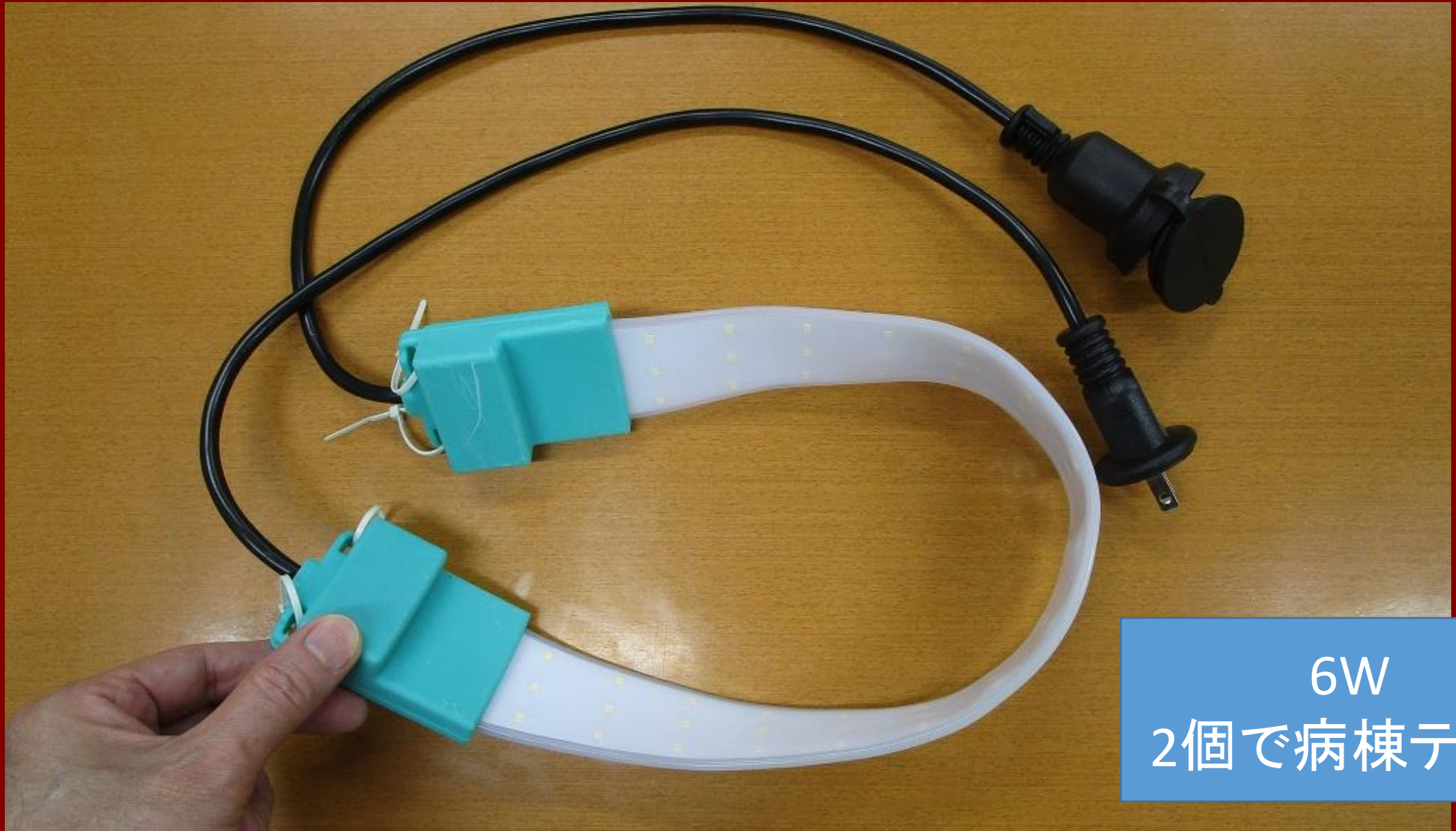
昼間の太陽光で夜
間の照明をつける



発電機の次に重い資機材：医療用テント

軽量化を目指して
設計、試作中

ライトの軽量化と省エネ化



6W
2個で病棟テント

最終的な二酸化炭素排出量の削減量

資機材の軽量化
ガソリン消費量の削減

試算：現行から20%のCO₂排出量削減

2023年度計画

1. 太陽光パネル＋蓄電池 →
どれだけの資機材を実際に稼働できるか
実証実験（4月、10月）
2. 重量物であるテントをどれだけ軽量化できるか
実物大プロトタイプ製作（10月目標）

今後の課題

製造工程も含めた総CO₂排出量の評価

償却後の処理方法の検討

コスト面での評価